



客は手に汗して観戦しました。順位は次のとおりです。

【小学校の部】①清滝小 ②安良沢小 ③日光小 ④中宮祠小  
【中学校の部】①日光中 ②中宮祠中 ③東中

ベストシックスは次のように選ばれました。◎印は最優秀選手。

【小学校の部】G K 岸正隆(清)、D F 赤坂隆之(清)、関淳一(安)、F W ◎山本政明(清)、河内仁志(清)、中島俊一(清)

【中学校の部】G K 中村仁(日)、D F 藤田忠(日)、F W ◎上野孝幸(中)、小平豪(日)、庄司久永(日)、久保進(日)

①父兄の声援をうけ力走する子供  
②華麗なフィギュア競技  
③スリルとスピードのホッケー

## 全日本女子

### アイスホッケー大会

#### 日光で初開催

い将来には、中学生チームとも五分に戦うことのできるようにと、選手一同はりきっています。

#### 七里志渡沢二号橋

##### 架け替え工事進む

国道一一九号線から大谷川に抜ける市道三九二号線の「七里志渡沢二号橋」の架け替え工事は順調に進み、今月末完成します。

今までの橋は、十四年以上を経過した木橋で、老朽化が進み危険なため、昨年十二月末に架け替え工事を開始しました。

今回、架け替える橋は、P・C(プレストレスト・コンクリート)工法で造られた永久橋で、橋長一〇・八五メートル、幅員五・二メートル(有効幅員四・四メートル)、総工事費は一千二百万円です。

橋台はすでに完成、これからは橋げたを架設するので、今月末には完成します。

地域住民の方には、この工事になにかとご不便をおかけしていますが、もうしばらくご協力くださいようお願いします。

## 所野みどりの里分譲宅地

### 百九十三人が申し込み

一月五日に開始した「所野みどりの里分譲宅地」の申し込み受け付けは、二月十五日に締め切られました。申し込み者は、予想をはるかに上回る百九十三人に達しました。

その内訳は、市内の方が百八十五人、市外の方は八人。区画ごとの倍率は、二倍と三倍が二十区画、四倍が五区画、五倍四区画、六倍五区画、七倍二区画、九倍一区画で、全体から見ると平均倍率は三・三九倍になります。

## 人事

カッコ内は前職名(敬称略)

◎日光地区消防組合(二月三日付)

▽消防長事務取扱 斎藤善蔵(副組合長兼務)▽退職 名古屋恒頼(消防長兼日光消防署長)

分譲宅地申込者については、今月中に分譲宅地譲受人選考委員会を開き、申込者の資格を慎重に審査し、公開抽選のうえ、譲受人が決まることとなります。

日光で初めて開催するこの大会には、国土計画女子チームなどの強豪七チームが参加。試合は総当たり、リーグ戦。地元日光からは、昨年誕生した「小山ゆうえんち女子アイスホッケー部」が出場。熱戦が期待されますので、皆さんのご声援をお願いします。

小山ゆうえんち女子アイスホッケー部は、昨年十二月に結成、現在登録者は二十八人。うち一人が今市の方で、残り二十七人は日光の方です。練習は一週間に最低二回以上、一回の練習時間は約二時間、市内小学校のチビッ子チームとも、ときどき練習試合を行っています。現在の成績は二勝三敗と負け越しています。しかし近

の大太刀には、伝説が三つほどあるという。

その一つは、伝説「神戦物語」(広報一月号で紹介)で二荒の神が、赤城の神と戦い勝利を納めて、たくさん捕虜を打首にすることになった。それには、一人づつでは大変なので、この大太刀で二・三人づつまとめて切ったのだという。

もう一つは、やはり「神戦物語」で、この大太刀を進軍の先頭に押し立て、目印にして志気をあおったという。

そして、もう一つの伝説は、鳴虫山に「子子」という怪しい虫がいて「子子」と鳴いては、人に危害を加えた。或る日、神社の拝殿から、この大太刀が飛び出していき、子子虫を追いまわして、神社の前まで追いつめ、切ってしまったという話である。以来、この大太刀を「禰々切丸」と呼び、子子虫の鳴いた山を「鳴虫山」と呼ぶようになったという。

鳴虫山の北側にある「中ソネ」には、八畳敷ほどの洞窟があり、奉行の目が届かないので、賭博の開催場だったという話が残されている。この洞窟は、実際にあるそうだが、中ソネ観音と呼ばれている。

中ソネ観音と呼ばれている。

中ソネ観音と呼ばれている。

中ソネ観音と呼ばれている。

中ソネ観音と呼ばれている。